

中学生の  
職場体験活動

# 生き方探究・ チャレンジ 体験



京都市立中学校・総合支援学校

## 生き方探究・チャレンジ体験とは

自らを見つめ、生き方について考えを深めながら自ら学ぶ力（生きる力）を育む取組で、京都市内の全ての中学校・総合支援学校の1万名を超える生徒（対象学年の全員）が、それぞれの興味や関心に応じた様々な職業体験や勤労体験を、約3,700の事業所等の協力のもと、各学校の計画に基づき行っています。

京都市教育委員会

## 社会的・職業的自立に向けて「生き方探究教育」を推進

京都市では、すべての教育活動において、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことができるようにする「生き方探究教育」（キャリア教育）を推進しています。本事業は「生き方探究教育」の重要な柱の一つであり、地域・社会との関わりの中で、自らの在り方と生き方を考えるかけがえのない機会となっています。

### 働くことの厳しさと喜びを実感

この事業は、各学校独自の取組を発展させ、平成12年度から始まりました。以後、毎年1万名を超える中学生が参加し、約3,700事業所の御協力の下、かけがえのない貴重な体験をしています。

事業所の方々とのおふれあいを通じて「働くことの厳しさと喜び」を実感した生徒たちは、「新たな自分を発見する」など多くの実りを得ています。

### 体験日数を学校独自に設定

本事業がより効果的なものとなるよう、また、中学生が体験活動の達成感をより深く実感できるよう、事前・事後学習の充実を図りながら、体験日数を学校独自に設定（3日以上）しています。

事業所の皆様には、御負担をおかけしますが、子どもたちの今と未来のため、一層の御支援・御協力をお願いします。

中学生が夢に向かって大きく羽ばたくために

## ～素晴らしい 出会いと体験～

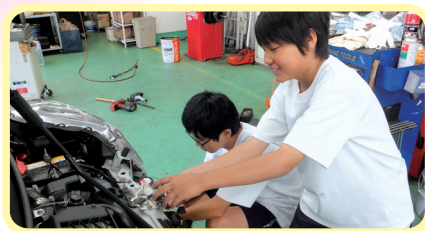
体験の実施前、中学生を受け入れる事業所も、子どもを送り出す保護者も教職員も、中学生本人も「ちゃんとできるかな」と心配しましたが、素直でまじめに「仕事」をやり通し、最後はみんな「ありがとう」の言葉に変わりました。

### 事業所の皆様からの声 活動を通しての充実感

●患者さんとの会話や簡単な介助をする中で、感謝されたり、励まされたことが嬉しく、一番印象に残ったようです。最終日には、皆笑顔で「心が暖かくなった」「人を助ける仕事はいいな」などの感想を話してくれました。



●「学校より大変やけど、やりがいがあります」と言っていた生徒の言葉が印象的でした。



### 生徒たちの声

#### 相手を思いやる心、仕事で成長

●仕事をする苦労も知らずに、大人になれば仕事をするのは当たり前とだけ思っていた自分が恥ずかしいです。やりたいことだけやれる仕事なんてないと思いました。



## 高齢者福祉施設での 忘れられない 体験

R.Nさんの体験記

**体験前**  
仕事調べ・事前訪問

こんな体験をしたい...  
そこでなにをするの?  
イメージがふくらみました。

**1日目**

午前	午後
お年寄りとの会話 昼ご飯の準備	散歩の補助 施設の掃除

不安と緊張でとても疲れました。

**2日目**

午前	午後
お年寄りとの会話 昼ご飯の準備	レクリエーションの準備 施設の掃除

名前も覚えて、少し慣れました。

**3日目**

午前	午後
読書 昼ご飯の準備	レクリエーションに参加 施設の掃除

お年寄りの優しさに気づきました。

**4日目**

午前	午後
散歩の補助 昼ご飯の準備	会議への参加 施設の掃除

職員の方のご苦労を  
実感しました。

**5日目**

午前	午後
お年寄りとの会話 施設の掃除	お別れ会

もうお別れ...  
でも自信ができました。

**体験後**  
お礼訪問・発表会

親切に教えていただいた  
ありがとうございました。

## 感動が人を育てる



京都市長 門川 大作

「まちづくりは人づくりから」。次代を担う子どもたちの育成は歴史と伝統を大切にしながら輝かしい未来の京都を創り出していく

上でとても重要です。

14歳の挑戦！学校や家庭では得られない体験を通じて自分を見つめ、「働くこと」「学ぶこと」の大切さを知る子どもたち。その子どもたちを快く受け入れていただいている事業所の皆様との間にたくさんの感動のドラマが生まれています。

今後とも、市民の皆様の一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

## 社会全体で子どもたちの生きる力を育む



京都市教育長 在田 正秀

京都市では、保護者・地域の各方々に参画いただき、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開しています。

中学生に社会的・職業的自立を促す本事業では、真剣に働く大人の姿に出会い、ふれあうことを通じて、仕事の厳しさとともに喜びや楽しさを学ばせていただいています。また、事業所の皆様からも「慣れない環境の中にあっても精一杯頑張っている姿を見ることができた」との温かいお声をいただいております。

本事業の実施にあたり御支援いただいておりますすべての皆様に感謝いたしますとともに、一層の御理解・御協力をお願いいたします。

●仕事には相手が必ず存在し、その相手のために全力をつくすことがとても大切だと知りました。また、それによって自分も成長できることを学びました。



●保育園で職場体験をして、人の命の大切さがわかりました。今まで自分もたくさんの人に支えてもらっていたことわかりました。



## 保護者からの声

### 職場体験を家族で共汗・共感

●学力を身につけるのはとても大切ですが数年後には社会の一員として子どもたちは巣立っていきます。まさに、生き方を探究するきっかけになったと思います。

●子どもにとっても次のステップになり、目標にもなるのではないのでしょうか。少しだけ責任感、精神面が強くなって帰ってきたように感じます。一生懸命仕事のことを話してくれる子どもの顔がすごく生き生きして嬉しかったです。

## 教職員の声

### 地域と学校のつながりを再確認

●ポスター発表まで取り組みが続き、生徒たちは素晴らしい発表をすることが出来ました。地域の事業所が主だったので、地域と学校の交流も深まったと思います。

●この体験で人と関わり、最終日に涙する生徒もいます。お金だけじゃない「働く」という体験が出来ているのではないのでしょうか。

●これを機会に、自分は周りの人たちに支えられていることに感謝しながら、しっかりと生きていく力を身につけ、いつか人の役に立てる大人になるという自覚を持ってほしいと思います。



## Q&A

**Q** 体験活動までの流れはどのようになっていますか？

**A** 実施時期や日数は学校毎に違いますが、それぞれの学校で年間計画の中に、この体験活動を位置付けています。事前学習や指導を行ったあと、生徒自身が各事業所へ事前に訪問して注意事項を確認するようにしています。また、生徒はもちろん保護者や地域の方にも参加いただいて報告会を行うなど成果の共有を図っています。

**Q** 体験する事業所はどのように探しているのですか？

**A** 各学校が、地域の事業所を中心に、受け入れていただける事業所を探して協力をお願いしています。PTA・地域の方、福祉・教育関係団体、経済団体からも事業所を紹介していただいたり、自ら受け入れてもらったりしています。また、公共施設などでも積極的に受け入れていただいています。

**Q** 事業所への行き帰りや体験中に事故などが起こったときはどうなるのですか？

**A** 事故などが起きないように事前に十分体験内容を調べたり、行き帰りの交通安全についても細やかに指導しています。しかし、万が一事故が起きた場合には京都市教育委員会へ加入している傷害保険・賠償責任保険から必要な補償がされることとなります。

# 学校・家庭・地域が一体となって未来を切り拓く「生きる力」を育む 「生き方探究・チャレンジ体験」の成果

## 地域の子どもは 地域で育てる

## 子どもと語り合う好機 家庭

- 子どもとの会話の時間が増加
- 貴重な体験を通じて親の生き方を再認識
- 子育て観をあらためて見つめ直す機会
- 地域社会を知る良い契機

## 自分を見つめる 「真剣勝負」 中学生

- 多くの素晴らしい人々との出会い
- 自分らしい生き方の探究
- 地域社会に自分の活躍の場を発見
- 仕事の厳しさ、大人の温かさを実感

## 「生きる力」を育む絶好の場 学校

- 学校では見られない生き生きとした生徒の姿に体験活動の重要性を痛感
- 地域社会の持つ豊かな教育力を実感
- 地域の方々に中学生の姿を知ってもらう良い機会
- 教職員が地域とのつながりを深める好機

## 子どもを理解し、地域を活性化 地域

- 「地域の子どもは地域で育てる」という気運の高まり
- 出会いにより中学生に対するイメージが変化
- 職場や地域の活性化に役立つ
- 子どもたちの地域づくりへの意識の育成

### 人づくり21世紀委員会も応援!

子どもたちのために大人としてなにができるかを考え、行動する「人づくり21世紀委員会」に参画する100以上の団体が一体となって中学生の体験活動を応援しています。

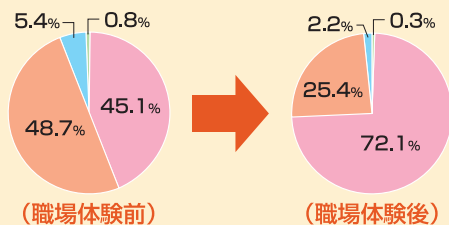
## 「生き方探究・チャレンジ体験」

## アンケート結果

### 生徒

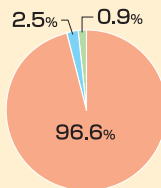
学校や家庭で決められた時間や約束が守られていますか。

- しっかり守れている
- 守れている
- あまり守れていない
- 守れていない



職場体験は、これから生きていくときにいろいろな場面で役立つと思いますか。

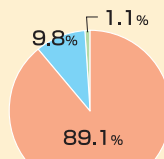
- 役立つと思う
- あまり役立つと思わない
- 役立つと思わない



### 保護者

お子さんと職場体験のことを話し合いましたか。

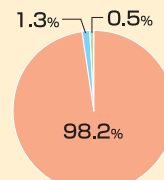
- 話し合った
- あまり話し合わなかった
- 話し合わなかった



### 事業所

来年度も、この活動にご協力をお願いしますか。

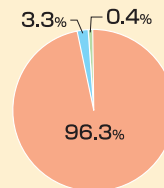
- 協力したい
- あまり協力したくない
- 協力したくない



### 教職員

生徒は、働くことには楽しさや苦しみがあることがわかったと思いますか。

- わかったと思う
- あまりわからなかったと思う
- わからなかったと思う



(平成27年度)

■お問合せ先

京都市教育委員会 京都まなびの街生き方探究館

〒602-8031 京都市上京区西洞院通下立売下東裏辻町402

TEL 075-253-0880 FAX 075-253-0878

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/scfp/>

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

「生きる力」を共に育む京都市民意識を实践しましょう!



平成19年2月5日制定、3月13日憲章推進の市会決議



京都市  
CITY OF KYOTO

時を超え美しく  
ひと輝く 歴史都市・京都